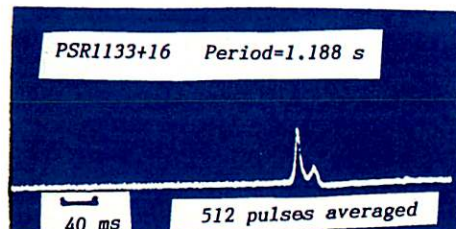
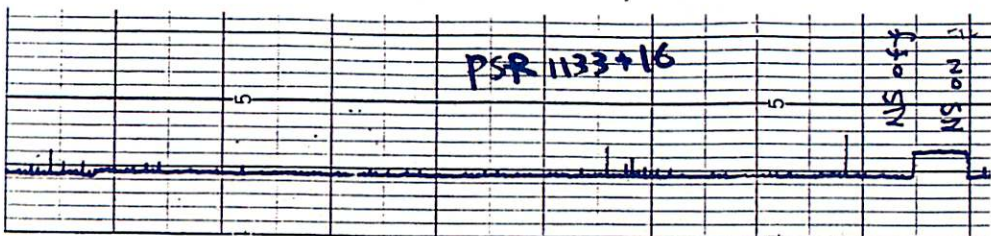
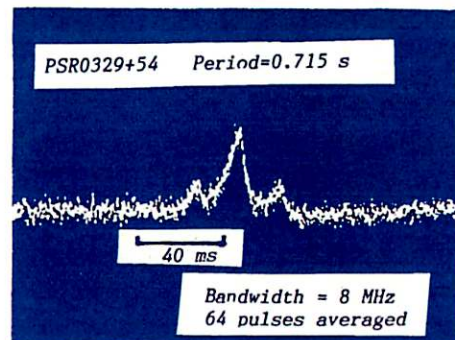
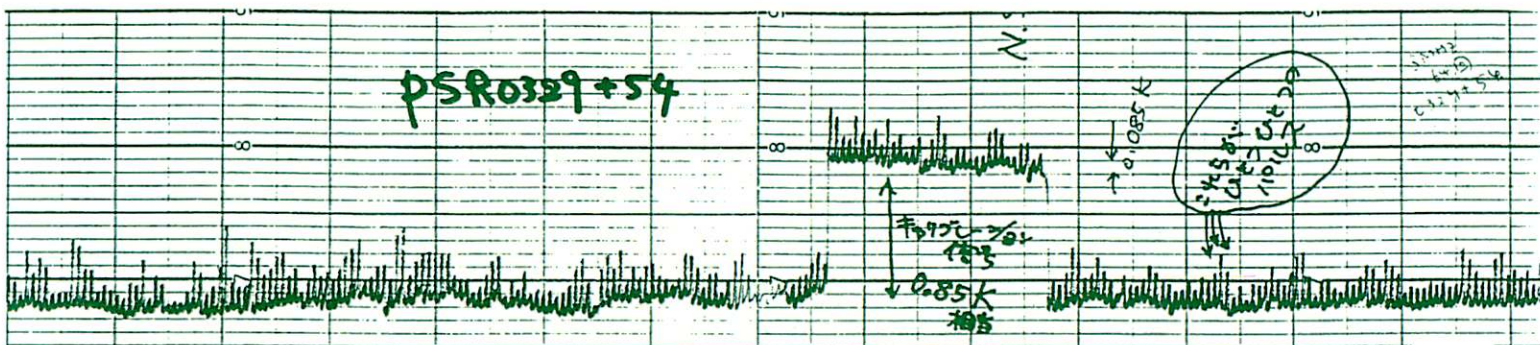


1986年11月18日.

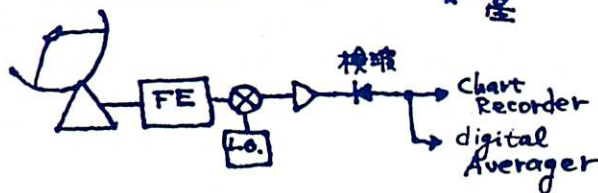
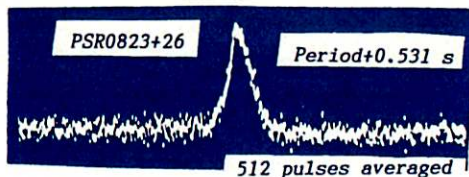
日本で初めてパルサーの電波受信さる!



観測に使用された宇宙科学研究所
64mφアンテナ



パルサーとは高速で自転する中性子星が本体で、その回転周期の周期10%を電波しています。その重さは太陽程度、直径10km程度、 10^{57} 個程度の中性子で構成された超高密度の天体です。



東京天文台、名大空電研は共同チームでパルサーの電波受信に成功しました。宇宙研 白田深宇宙観測所の64mアンテナが使用され、受信は2.4GHz帯。パルサーのデジタル積分のためにはNROのデジタルアペレシブが使用されました。

今回は第一回目のテスト観測ですが、更に観測装置の製作とグレードアップを重ねて、パルサーの放射メカニズムの研究、シンチレーション研究、相対論効果の研究などをめざしています。